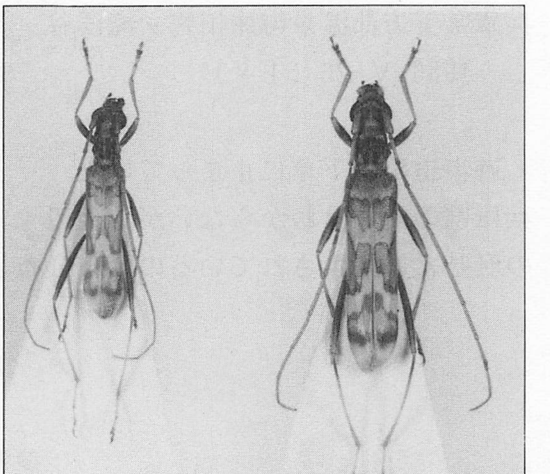
浜坂町における
ベーツヤサカミキリの採集記録

永幡嘉之

ベーツヤサカミキリ Leptoxenus ibidiiformis は一般的に採集例のあまり多くない種であるが，このほど美方郡浜坂町で本種の分布調査を行ったところ，各地から発見することができた．データを以下に列挙する．なお，採集年はすべて1993年であるので略した．隣接する香住町での記録も併せて報告する．

［兵庫県美方郡浜坂町］居組（3exs.,10-Ⅰ），釜屋（13exs.,12-Ⅰ），
諸寄（1ex.,12-Ⅰ）（5exs.,13-Ⅰ），城山（14exs.,11-Ⅰ），芦屋（1ex.,12-Ⅰ），清富（17exs.,2-Ⅰ），観音山（4exs.,26-Ⅱ）（10exs.,28-Ⅱ）（2exs.,5-Ⅲ），田井（1ex.,6-Ⅰ）（2exs.,9-Ⅰ），赤崎（19exs.,6-Ⅰ），二日市（1ex.,7-Ⅰ），栃谷（3exs.,5-Ⅰ），新市（15exs.,13-Ⅰ），三尾（21exs.,8-Ⅰ）
［城崎郡香住町］御崎（35exs.,9-Ⅰ）

タブノキ枯れ枝の材中ですでに新成虫となっており，独特の食痕を残しているので発見は容易であった．食痕は枯れ枝の直径2～5cm位のところに多く見られた．田井・城山など自然林の中で発見した産地もあるが，むしろ神社や墓地などのタブノキの大木のある場所のほうが発見しやすい．今回調査して発見できなかった七釜，対田，久谷，正法庵，宇都野町，和田，奥諸寄などでは，枯れ枝自体が少なく十分に調べることができなかったので，今後も調査を続けていきたい．なお，浜坂町新市はやや内陸部であるが，



浜坂町城山産

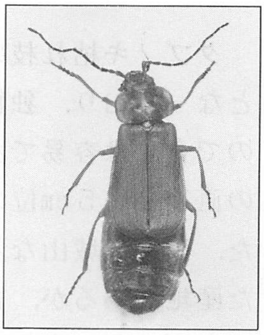
神社の裏山にカゴノキの大木が５本ほど生えており，その枯れ枝にも本種の食痕が認められた．成虫はタブノキから採集した．

調査にあたり御助言をいただいた阿部利一氏，小倉滋氏に御礼申し上げる．

キイロシリブトジョウカイを温泉町で採集

佐藤邦夫

特異な形態をしており，比較的珍しい種類と思われるキイロシリブトジョウカイ Yukikoa wittmeri を温泉町で採集しているので報告する．



採集記録

兵庫県美方郡温泉町岸田霧ヶ滝渓谷

1986-Ｖ-25（１♀）

遊歩道脇の下草に止まっていた．兵庫県の記録はわからないが，周辺の府県では採集されているので，分布していて当然であろう．

参考文献

石田正明・草刈広一（1986）キイロシリブトジョウカイの新産地，月刊むし187:40.

野村孝明（1987）キイロシリブトジョウカイの新産地，月刊むし195:40.